

# 第1章 研修の実施状況

## 1 主催した研修の有無

平成17年度に図書館職員を対象とした研修を実施した自治体は、1,344自治体のうち、30.1%にあたる404自治体である。自治体種別でみると、47都道府県(100%)、285市区(36.9%)、72町村(13.7%)が研修を実施している。

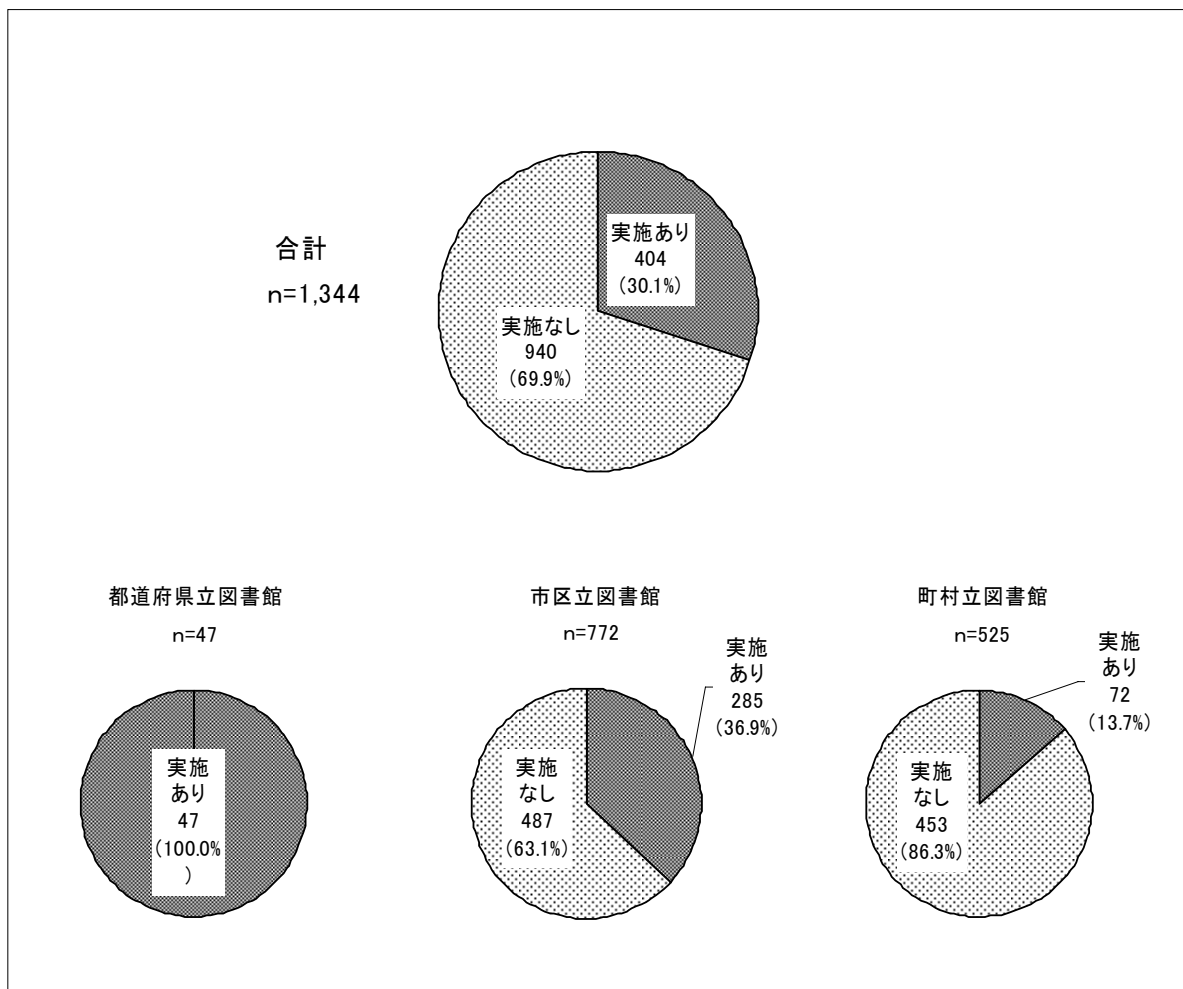


図 1.1 研修の実施状況

## 2 主催した研修の内容

主催した研修数は、都道府県立図書館 487 件、市区立図書館 735 件、町村立図書館 125 件の合計 1,347 件である。

全体でみると、「複数のテーマにわたる研修」235 件（17.4%）、「児童青少年サービス」229 件（17.0%）、「図書館経営」191 件（14.2%）、「その他」174 件（12.9%）、「レファレンスサービス」121 件（9.0%）の順になっている。「資料・主題情報」5 件（0.4%）、「法律情報サービス」4 件（0.3%）、「行政（政策立案）支援サービス」2 件（0.1%）、「医学・健康情報サービス」1 件（0.1%）は、それぞれ全体の 1%にも満たない。

研修の内容を自治体種別でみると、件数の最も多い「複数のテーマにわたる研修」は、都道府県立図書館 89 件、市区立図書館 126 件、町村立図書館 20 件である。次いで件数の多い「児童青少年サービス」は、都道府県立図書館 80 件、市区立図書館 115 件、町村立図書館 34 件である。

なお、付録 6 に「主催した研修の内容（都道府県別）」の表を掲載した。

- \* 図書館経営：図書館管理運営・図書館の危機管理・図書館サービス計画・図書館評価・図書館協力・ネットワーク・図書館振興・図書館の自由・ボランティア・「これからの図書館像」に関するものを含む
- \* 図書館関連法規：著作権法・個人情報保護法等を含む
- \* 情報通信技術：システム運用・ホームページ運用・電子図書館等を含む
- \* 情報検索：インターネット利用・情報リテラシーを含む
- \* レファレンスサービス：主題別（児童青少年、学校支援、障害者、地域資料情報、行政（政策立案）支援、ビジネス支援、法律情報、医学・健康情報）のレファレンスサービスは除く
- \* その他の図書館サービス：多文化サービス等
- \* 資料・主題情報：古典籍資料・視聴覚資料・逐次刊行物・統計情報・科学技術情報等
- \* 複数のテーマにわたる研修：図書館概論等図書館活動全般に関わるもの・複数の講座を組み合わせたもの・複数の事項から構成されるテーマ（例：資料保存と著作権。ただし、どちらかの項目に重点がある場合は、重点のある項目に入れる。）
- \* その他：図書館視察・出版流通・生涯学習等

表 1.1 主催した研修の内容

	全体	問 1（ア欄）研修の内容															
		資料の収集・整理・保存	図書館経営	図書館関連法規	情報通信技術	情報検索	レファレンスサービス	児童青少年サービス	学校支援サービス	障害者サービス	地域資料情報サービス	行政（政策立案）支援	ビジネス支援サービス	法律情報サービス	医学・健康情報サービス	その他の図書館サービス	
合計	1347 100.0 (100.0)	78 5.8 (100.0)	191 14.2 (100.0)	60 4.5 (100.0)	39 2.9 (100.0)	41 3.0 (100.0)	121 9.0 (100.0)	229 17.0 (100.0)	28 2.1 (100.0)	26 1.9 (100.0)	26 1.9 (100.0)	2 0.1 (100.0)	18 1.3 (100.0)	4 0.3 (100.0)	1 0.1 (100.0)	68 5.0 (100.0)	
自治体種別	都道府県立図書館	487 100.0 (36.2)	37 7.6 (47.4)	91 18.7 (47.6)	21 4.3 (35.0)	14 2.9 (35.9)	12 2.5 (29.3)	52 10.7 (43.0)	3 0.6 (10.7)	12 2.5 (46.2)	10 2.1 (38.5)	2 0.4 (100.0)	9 1.8 (50.0)	2 0.4 (50.0)	1 0.2 (100.0)	18 3.7 (26.5)	
	市区立図書館	735 100.0 (54.6)	35 4.8 (44.9)	88 12.0 (46.1)	36 4.9 (60.0)	24 3.3 (61.5)	27 3.7 (65.9)	65 8.8 (53.7)	14 1.9 (50.2)	11 1.5 (42.3)	16 2.2 (61.5)	0 0.0 (0.0)	7 1.0 (38.9)	2 0.3 (50.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	45 6.1 (66.2)
	町村立図書館	125 100.0 (9.3)	6 4.8 (7.7)	12 9.6 (6.3)	3 2.4 (5.0)	1 0.8 (2.6)	2 1.6 (4.9)	4 3.2 (3.3)	34 8.8 (14.8)	11 2.4 (39.3)	3 0.8 (11.5)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (11.1)	2 1.6 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	5 4.0 (7.4)

	全体	問 1（ア欄）研修の内容			
		資料・主題情報	複数のテーマにわたる研修	その他	不明
合計	1347 100.0 (100.0)	5 0.4 (100.0)	235 17.4 (100.0)	174 12.9 (100.0)	1 0.1 (100.0)
自治体種別	都道府県立図書館	1 0.2 (36.2)	89 18.3 (37.9)	33 6.8 (19.0)	0 0.0 (0.0)
	市区立図書館	3 0.4 (54.6)	126 17.1 (53.6)	120 16.3 (69.0)	1 0.1 (100.0)
	町村立図書館	1 0.8 (9.3)	20 16.0 (8.5)	21 16.8 (12.1)	0 0.0 (0.0)

\* 上段：実数

\* 中段：自治体種別からみた研修内容の比率

\* 下段：研修の内容からみた自治体種別の比率

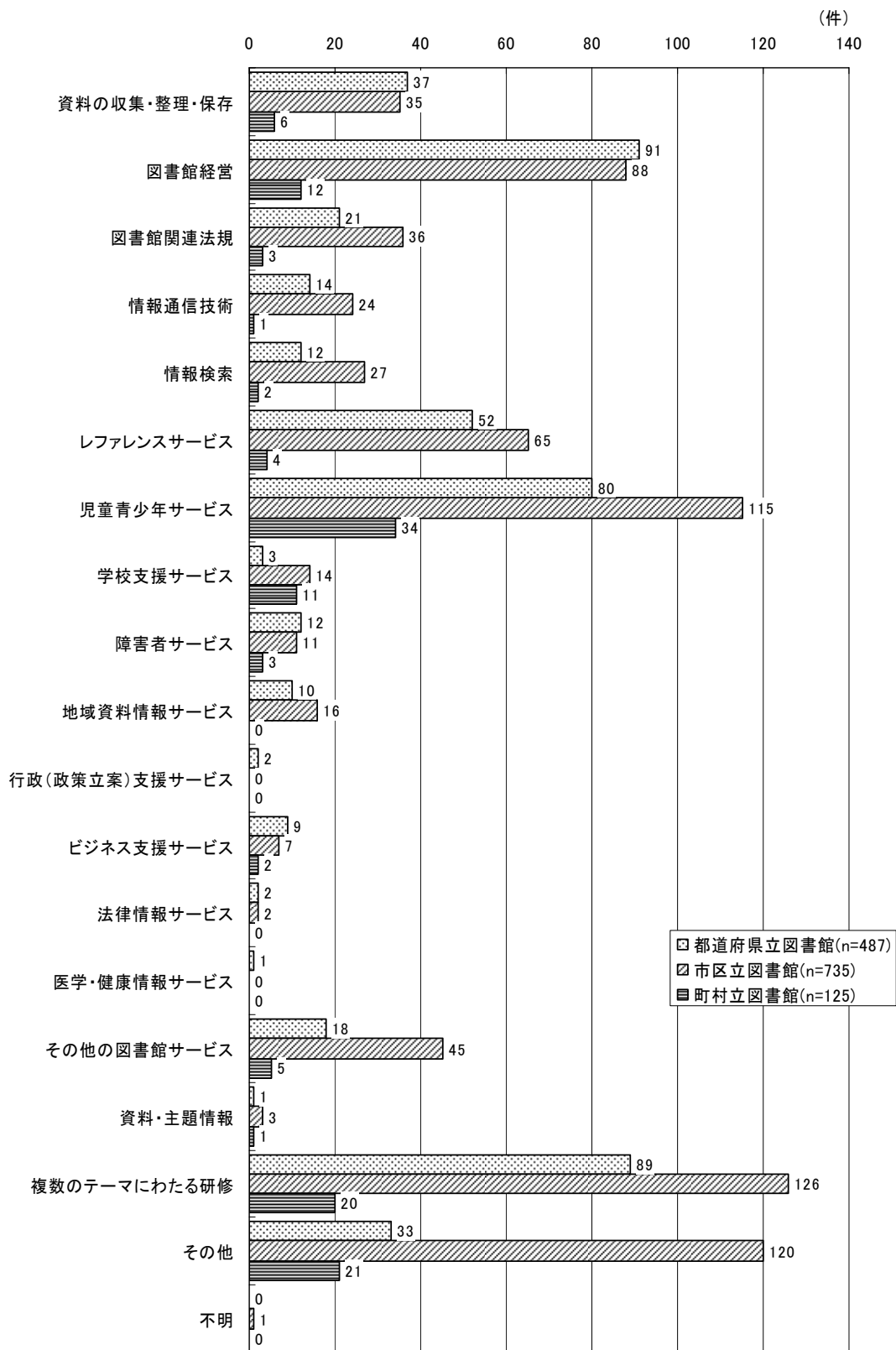


図 1.2 主催した研修の内容

### 3 主催者が設定した参加資格

#### (1) 所属

市区町村立図書館職員を対象とした研修が 768 件 (57.0%)、都道府県立図書館職員を対象とした研修が 82 件 (6.1%)、市区町村立図書館職員および都道府県立図書館職員を対象とした研修が 218 件 (16.2%) である。また、その他(大学図書館・学校図書館・専門図書館等)の職員も対象とした研修は 278 件 (20.6%) である。

\*市区町村立図書館：公民館図書室読書施設を含む。

\*その他：市区町村立図書館・都道府県立図書館の他、大学図書館、学校図書館、専門図書館等を含む。

表 1.2 主催者が設定した参加資格（所属）

	全体	問 1 (イ欄) 所属					
		市区町村立図書館	都道府県立図書館	市区町村立および都道府県立図書館	その他	不明	
合計	1347 100.0	768 57.0	82 6.1	218 16.2	278 20.6	1 0.1	
自治体種別	都道府県立図書館	487 100.0	67 13.8	72 14.8	203 41.7	145 29.8	0 0.0
	市区立図書館	735 100.0	626 85.2	9 1.2	8 1.1	91 12.4	1 0.1
	町村立図書館	125 100.0	75 60.0	1 0.8	7 5.6	42 33.6	0 0.0

#### (2) 正規職員・非常勤職員等

正規職員に加え非常勤等職員等も対象とした研修が 745 件 (55.3%) と最も多い。次いで、委託・派遣職員等も対象とした研修が 413 件 (30.7%)、正規職員のみを対象とした研修が 186 件 (13.8%) となっている。

\*非常勤職員等を含む：正規職員だけではなく嘱託職員、非常勤・臨時職員を含む。

\*委託・派遣職員等を含む：正規職員、嘱託職員、非常勤・臨時職員だけではなく、委託・派遣・指定管理者職員、ボランティア等を含む。

表 1.3 主催者が設定した参加資格（正規・非常勤等）

	全体	問 1 (ウ欄) 正規・非常勤等				
		正規職員のみ	非常勤職員等含む	委託・派遣職員等含む	不明	
合計	1347 100.0	186 13.8	745 55.3	413 30.7	3 0.2	
自治体種別	都道府県立図書館	487 100.0	33 6.8	237 48.7	217 44.6	0 0.0
	市区立図書館	735 100.0	147 20.0	438 59.6	147 20.0	3 0.4
	町村立図書館	125 100.0	6 4.8	70 56.0	49 39.2	0 0.0

### (3) 経験等

参加資格として特に経験を問わない研修が 1,019 件 (75.6%) と最も多い。次いで、新任・転任職員を対象とした研修が 171 件 (12.7%)、中堅職員を対象とした研修が 77 件 (5.7%) となっている。

\* 新任・転任職員：図書館に勤務して 0～1 年程度の新任（初任）職員。また、図書館勤務年数に関わらず、特定分野（例 児童、レファレンス）の勤務経験が 0～1 年程度の職員も含む。

\* 中堅職員：図書館に勤務して概ね 3 年以上の職員で、ベテランも含む。また、特定分野（例 児童、レファレンス）の勤務経験が概ね 3 年以上の職員で、ベテランも含む。

表 1.4 主催者が設定した参加資格（経験等）

		全体	問 1 (エ欄) 経験等					不明
			新任・ 転任職員	中堅職 員	館長	経験問 わず	その他	
合計		1347 100.0	171 12.7	77 5.7	31 2.3	1019 75.6	48 3.6	1 0.1
自治 体 種 別	都道府県立図書館	487 100.0	49 10.1	36 7.4	22 4.5	367 75.4	13 2.7	0 0.0
	市区立図書館	735 100.0	117 15.9	41 5.6	8 1.1	541 73.6	27 3.7	1 0.1
	町村立図書館	125 100.0	5 4.0	0 0.0	1 0.8	111 88.8	8 6.4	0 0.0

次ページ表 1.5 に主催者が設定した参加資格（経験等）を研修の内容別に示した。

新任・転任職員を対象とした研修では、「複数のテーマにわたる研修」87 件 (50.9%) が最も多い。次いで「レファレンスサービス」22 件 (12.9%)、「その他」13 件 (7.6%)、「図書館経営」11 件 (6.4%)、「児童青少年サービス」11 件 (6.4%)、「資料の収集・整理・保存」8 件 (4.7%) が多くなっている。

中堅職員を対象とした研修では、「児童青少年サービス」13 件 (16.9%) と「複数のテーマにわたる研修」13 件 (16.9%) が最も多い。次いで「その他」12 件 (15.6%)、「レファレンスサービス」11 件 (14.3%)、「情報検索」10 件 (13.0%) が多くなっている。

館長を対象とした研修では、「図書館経営」18 件 (58.1%) が最も多い。次いで「その他」6 件 (19.4%)、「複数のテーマにわたる研修」5 件 (16.1%) となっている。

表 1.5 主催者が設定した参加資格（経験等）（研修の内容別）

	全体	問1（エ欄）経験等						
		新任・ 転任職 員	中堅職 員	館長	経験問 わず	その他	不明	
合計	1347 100.0 (100.0)	171 12.7 (100.0)	77 5.7 (100.0)	31 2.3 (100.0)	1019 75.6 (100.0)	48 3.6 (100.0)	1 0.1 (100.0)	
問1 （ア欄） 研修の 内容	資料の収集・整理 ・保存	78 100.0 (5.8)	8 10.3 (4.7)	2 2.6 (2.6)	0 0.0 (0.0)	68 87.2 (6.7)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)
	図書館経営	191 100.0 (14.2)	11 5.8 (6.4)	3 1.6 (3.9)	18 9.4 (58.1)	154 80.6 (15.1)	5 2.6 (10.4)	0 0.0 (0.0)
	図書館関連法規	60 100.0 (4.5)	2 3.3 (1.2)	1 1.7 (1.3)	1 1.7 (3.2)	53 88.3 (5.2)	3 5.0 (6.3)	0 0.0 (0.0)
	情報通信技術	39 100.0 (2.9)	4 10.3 (2.3)	4 10.3 (5.2)	0 0.0 (0.0)	28 71.8 (2.7)	3 7.7 (6.3)	0 0.0 (0.0)
	情報検索	41 100.0 (3.0)	4 9.8 (2.3)	10 24.4 (13.0)	0 0.0 (0.0)	26 63.4 (2.6)	1 2.4 (2.1)	0 0.0 (0.0)
	レファレンスサー ビス	121 100.0 (9.0)	22 18.2 (12.9)	11 9.1 (14.3)	0 0.0 (0.0)	83 68.6 (8.1)	5 4.1 (10.4)	0 0.0 (0.0)
	児童青少年サー ビス	229 100.0 (17.0)	11 4.8 (6.4)	13 5.7 (16.9)	0 0.0 (0.0)	197 86.0 (19.3)	7 3.1 (14.6)	1 0.4 (100.0)
	学校支援サー ビス	28 100.0 (2.1)	2 7.1 (1.2)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	26 92.9 (2.6)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)
	障害者サー ビス	26 100.0 (1.9)	1 3.8 (0.6)	1 3.8 (1.3)	0 0.0 (0.0)	20 76.9 (2.0)	4 15.4 (8.3)	0 0.0 (0.0)
	地域資料情報サー ビス	26 100.0 (1.9)	1 3.8 (0.6)	3 11.5 (3.9)	0 0.0 (0.0)	22 84.6 (2.2)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)
	行政（政策立案） 支援サー ビス	2 100.0 (0.1)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	2 100.0 (0.2)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)
	ビジネス支援サー ビス	18 100.0 (1.3)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	16 88.9 (1.6)	2 11.1 (4.2)	0 0.0 (0.0)
	法律情報サー ビス	4 100.0 (0.3)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	4 100.0 (0.4)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)
	医学・健康情報サ ービス	1 100.0 (0.1)	0 0.0 (0.0)	1 100.0 (1.3)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)
	その他の図書館サ ービス	68 100.0 (5.0)	4 5.9 (2.3)	2 2.9 (2.6)	1 1.5 (3.2)	57 83.8 (5.6)	4 5.9 (8.3)	0 0.0 (0.0)
	資料・主題情報	5 100.0 (0.4)	0 0.0 (0.0)	1 20.0 (1.3)	0 0.0 (0.0)	4 80.0 (0.4)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)
	複数のテーマにわ たる研修	235 100.0 (17.4)	87 37.0 (50.9)	13 5.5 (16.9)	5 2.1 (16.1)	122 51.9 (12.0)	8 3.4 (16.7)	0 0.0 (0.0)
	その他	174 100.0 (12.9)	13 7.5 (7.6)	12 6.9 (15.6)	6 3.4 (19.4)	137 78.7 (13.4)	6 3.4 (12.5)	0 0.0 (0.0)
	不明	1 100.0 (2.1)	1 100.0 (1.2)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)	0 0.0 (0.0)

\* 上段：実数

\* 中段：研修の内容からみた経験等の比率

\* 下段：経験等からみた研修の内容の比率

#### 4 主催した研修の定員

都道府県立図書館における研修の定員は、「50名以上」が182件（37.4%）と最も多い。「10名未満」が18件（3.7%）と最も少ない。

市区立図書館における研修の定員は「10～29名」が325件（44.2%）と最も多い。「50名以上」が93件（12.7%）と最も少ない。

町村立図書館における研修の定員は、「10～29名」が71件（56.8%）と最も多く、次いで「10名未満」が33件（26.4%）と多い。合わせると「29名以下」が8割を超える。

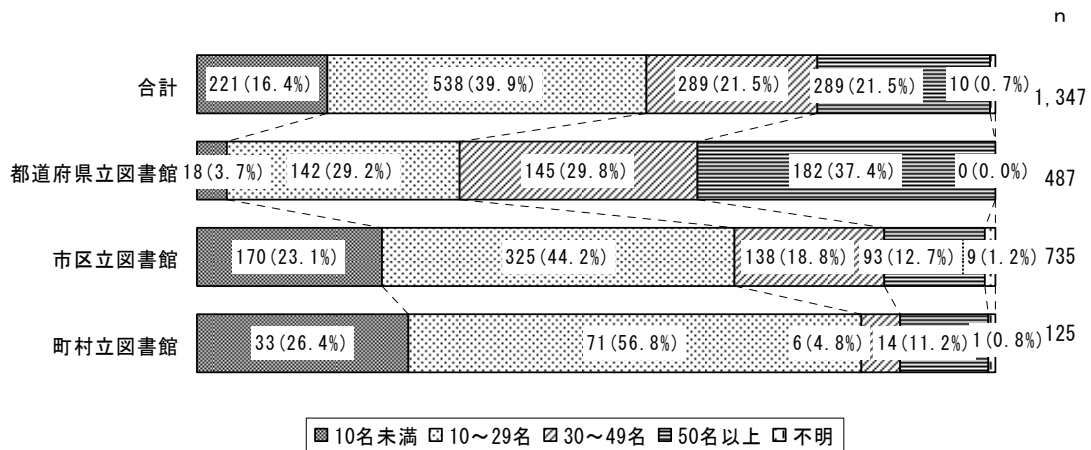


図 1.3 主催した研修の定員

#### 5 主催した研修の実施日数

主催した研修の実施日数は、「半日以下」810件（60.1%）と最も多い。次いで「1日」313件（23.2%）、「3日以上」129件（9.6%）、「2日」95件（7.1%）となっている。

\*実施日数：延べ日数（例 半日を2回の研修は1日）。

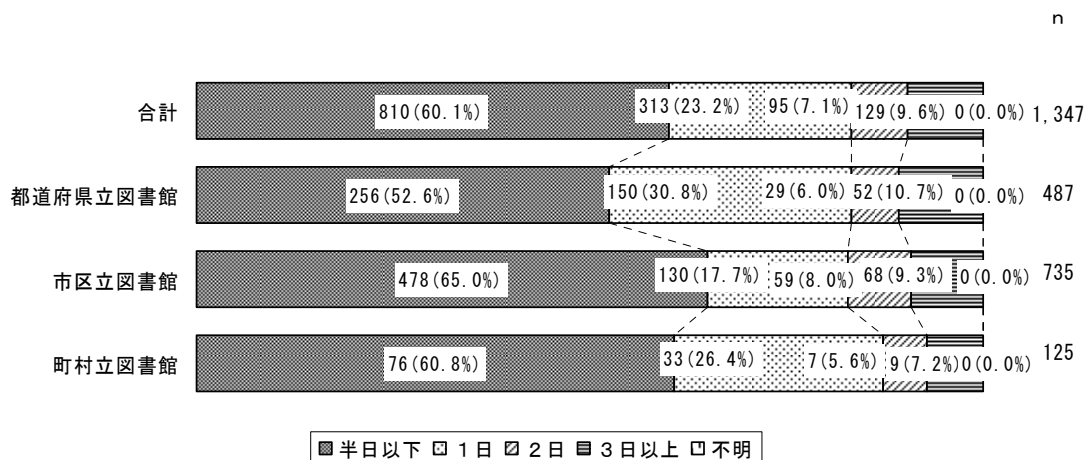


図 1.4 主催した研修の実施日数

実施日数を研修の内容別で見ると、最も件数の多い「複数のテーマにわたる研修」は、「1日」82件（34.9%）、「半日以下」79件（33.6%）、「2日」39件（16.6%）、「3日以上」35件（14.9%）となっており、比較的实施日数が多い。次いで件数の多い「児童青少年サービス」は、「半日以下」116件（50.7%）が最も多いが、「1日」49件（21.4%）、「3日以上」47件（20.5%）、「2日」17件（7.4%）で実施日数が「3日以上」も比較的多い。

表 1.6 主催した研修の実施日数（研修の内容別）

		全体	問 1（カ欄）実施日数				
			半日以下	1日	2日	3日以上	不明
合計		1347 100.0	810 60.1	313 23.2	95 7.1	129 9.6	0 0.0
問 1 （ア欄） 研修の内容	資料の収集・整理・保存	78 100.0	56 71.8	15 19.2	1 1.3	6 7.7	0 0.0
	図書館経営	191 100.0	130 68.1	49 25.7	4 2.1	8 4.2	0 0.0
	図書館関連法規	60 100.0	50 83.3	8 13.3	2 3.3	0 0.0	0 0.0
	情報通信技術	39 100.0	23 59.0	7 17.9	5 12.8	4 10.3	0 0.0
	情報検索	41 100.0	27 65.9	10 24.4	1 2.4	3 7.3	0 0.0
	レファレンスサービス	121 100.0	87 71.9	22 18.2	3 2.5	9 7.4	0 0.0
	児童青少年サービス	229 100.0	116 50.7	49 21.4	17 7.4	47 20.5	0 0.0
	学校支援サービス	28 100.0	25 89.3	3 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	障害者サービス	26 100.0	18 69.2	3 11.5	2 7.7	3 11.5	0 0.0
	地域資料情報サービス	26 100.0	19 73.1	3 11.5	0 0.0	4 15.4	0 0.0
	行政（政策立案）支援サービス	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ビジネス支援サービス	18 100.0	13 72.2	3 16.7	2 11.1	0 0.0	0 0.0
	法律情報サービス	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医学・健康情報サービス	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他の図書館サービス	68 100.0	44 64.7	17 25.0	4 5.9	3 4.4	0 0.0
	資料・主題情報	5 100.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	複数のテーマにわたる研修	235 100.0	79 33.6	82 34.9	39 16.6	35 14.9	0 0.0
	その他	174 100.0	111 63.8	42 24.1	14 8.0	7 4.0	0 0.0
	不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



## 6 主催した研修の講師

自治体種別でみると、都道府県立図書館は、主催した研修の講師に外部講師（図書館員と大学教員等を合わせた外部講師）を含む場合が 319 件(65.5%)と、全体の半数を超えている。

市区立図書館は、内部講師のみの研修が、377 件(51.3%)と全体の半数を超えている。

町村立図書館は、外部講師（図書館員と大学教員等を合わせた外部講師）を含む研修が、71 件(56.8%)と全体の半数を超えている。

\*内部講師のみ：講師を外部に依頼せず、研修の主催組織・主催図書館等の職員のみを講師とした場合。

\*外部講師（図書館員）含む：外部に講師依頼し、外部講師が図書館職員のみの場合。

\*外部講師（大学教員等）含む：外部に講師依頼し、外部講師が図書館職員以外（大学の教員等）の場合。

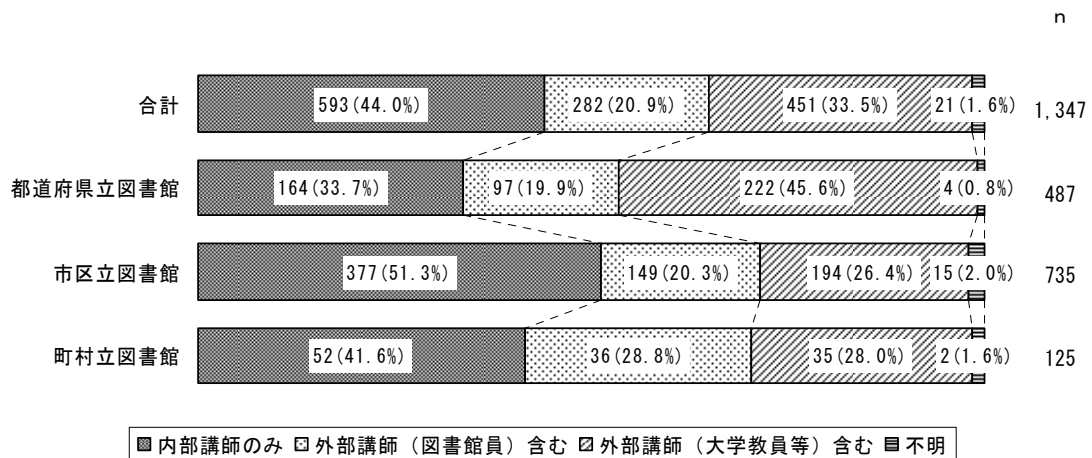


図 1.5 主催した研修の講師

講師を研修の内容別でみると、「学校支援サービス」、「レファレンスサービス」、「資料の収集・整理・保存」などの研修は、内部講師のみで行っている割合が高い。「障害者サービス」や「児童青少年サービス」などの研修は、講師に外部講師（図書館員と大学教員等を合わせた外部講師）を含む割合が高い。

表 1.7 主催した研修の講師（研修の内容別）

	全体	問 1 (キ欄) 講師				
		内部講師のみ	外部講師(図書館員)含む	外部講師(大学教員等)含む	不明	
合計	1347 100.0	593 44.0	282 20.9	451 33.5	21 1.6	
問 1 (ア欄) 研修の内容	資料の収集・整理・保存	78 100.0	48 61.5	12 15.4	17 21.8	1 1.3
	図書館経営	191 100.0	66 34.6	49 25.7	75 39.3	1 0.5
	図書館関連法規	60 100.0	22 36.7	15 25.0	23 38.3	0 0.0
	情報通信技術	39 100.0	23 59.0	10 25.6	6 15.4	0 0.0
	情報検索	41 100.0	24 58.5	3 7.3	14 34.1	0 0.0
	レファレンスサービス	121 100.0	76 62.8	18 14.9	27 22.3	0 0.0
	児童青少年サービス	229 100.0	58 25.3	52 22.7	119 52.0	0 0.0
	学校支援サービス	28 100.0	18 64.3	0 0.0	10 35.7	0 0.0
	障害者サービス	26 100.0	5 19.2	6 23.1	15 57.7	0 0.0
	地域資料情報サービス	26 100.0	10 38.5	6 23.1	9 34.6	1 3.8
	行政(政策立案)支援サービス	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	ビジネス支援サービス	18 100.0	4 22.2	7 38.9	7 38.9	0 0.0
	法律情報サービス	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
	医学・健康情報サービス	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	その他の図書館サービス	68 100.0	33 48.5	13 19.1	21 30.9	1 1.5
	資料・主題情報	5 100.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0
	複数のテーマにわたる研修	235 100.0	135 57.4	42 17.9	55 23.4	3 1.3
	その他	174 100.0	68 39.1	45 25.9	47 27.0	14 8.0
	不明	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

## 7 主催した研修の形式等

主催した研修の形式等は、講義のみの研修が 597 件 (44.3%)、ワークショップ (演習等) を含む研修が 548 件 (40.7%) である。

自治体種別でみると、都道府県立図書館と市区立図書館の傾向はあまり変わらないが、町村立図書館は、ワークショップ (演習等) を含む研修が 64 件 (51.2%) と多くなっている。

\*ワークショップ (演習等) 含む：ワークショップや、演習、討論、プレゼンテーションのいずれかを含む。

\*その他：図書館視察、聴講型のパネルディスカッションなど。

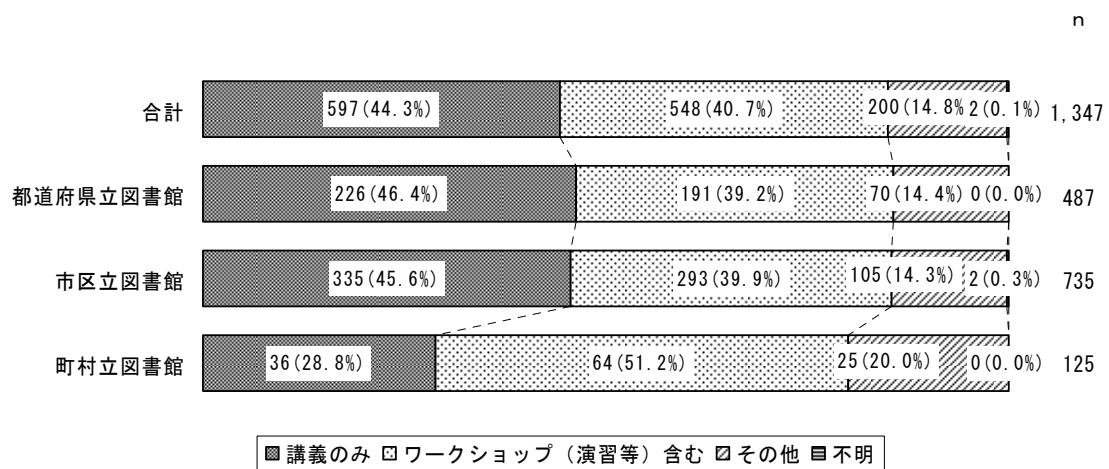


図 1.6 主催した研修の形式等

形式等を研修の内容別でみると、講義のみの研修は、「複数のテーマにわたる研修」、「図書館経営」で多くなっている。また、ワークショップ（演習等）を含む研修は、「児童青少年サービス」で最も多い。次いで「複数のテーマにわたる研修」で多くなっている。

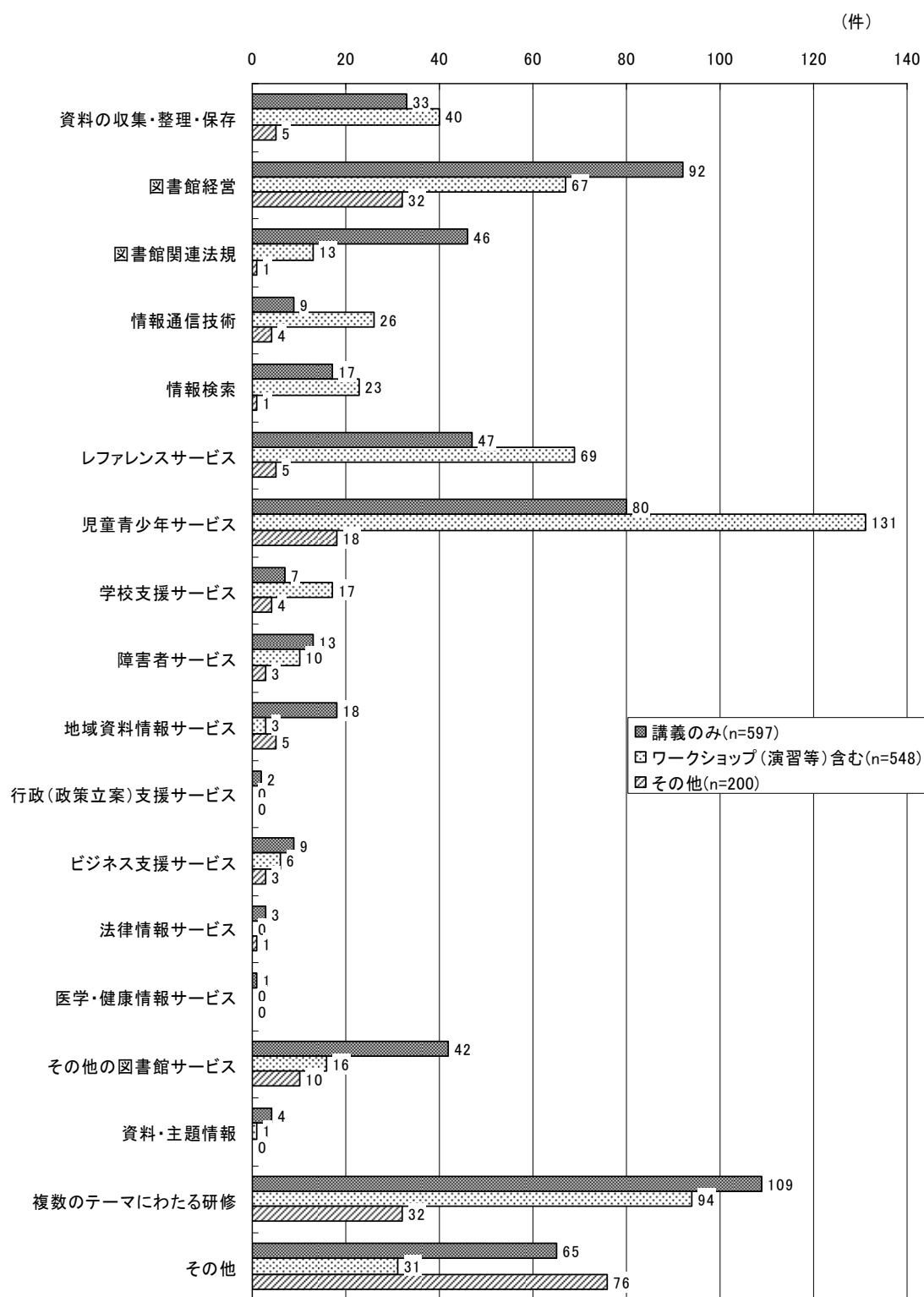


図 1.7 主催した研修の形式等（研修の内容別）

形式等を経験別で見ると、中堅職員を対象とした研修は、「ワークショップ（演習等）含む」が、48件（62.3%）で6割以上となっている。館長を対象とした研修は、「講義のみ」が、16件（51.6%）で5割以上となっている。

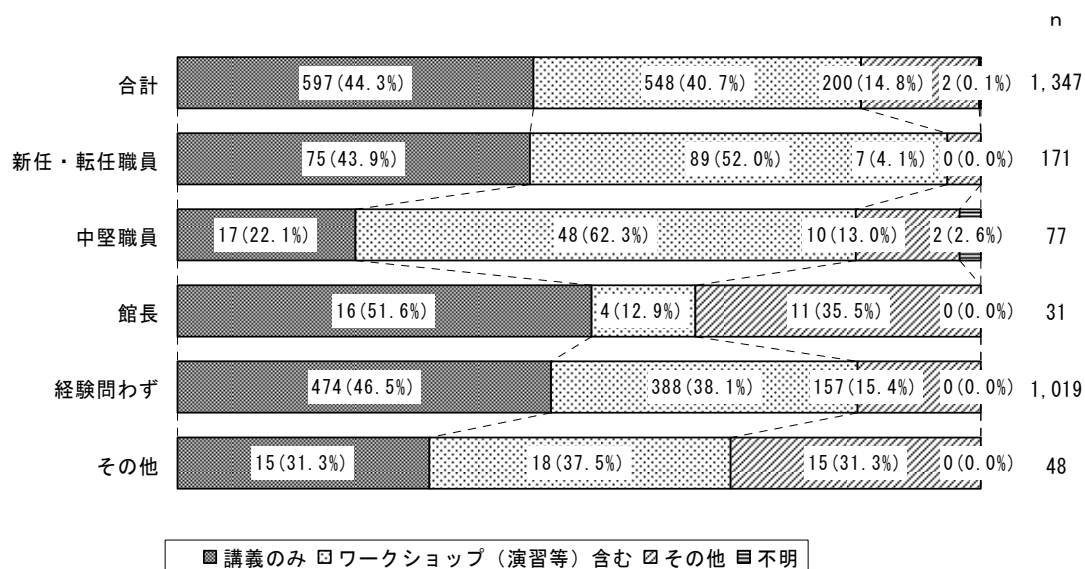


図 1.8 主催した研修の形式等（経験等別）

## 8 主催した研修の課題の有無

全体では、課題なしの研修が、1,061件（78.8%）と最も多くなっている。事前課題ありの研修240件（17.8%）の方が、修了課題ありの研修26件（1.9%）より多くなっている。

表 1.8 主催した研修の課題の有無

	全体	問1（ケ欄）課題の有無					
		事前課題あり	修了課題あり	事前・修了課題あり	課題なし	不明	
合計	1347	240	26	15	1061	5	
	100.0	17.8	1.9	1.1	78.8	0.4	
自治体種別	都道府県立図書館	487	62	7	7	411	0
		100.0	12.7	1.4	1.4	84.4	0.0
	市区立図書館	735	141	17	8	566	3
		100.0	19.2	2.3	1.1	77.0	0.4
町村立図書館	125	37	2	0	84	2	
	100.0	29.6	1.6	0.0	67.2	1.6	

課題の有無を研修の内容別で見ると、事前課題ありの研修は、「学校支援サービス」で 42.9% (12 件)、「児童青少年サービス」で 32.3% (74 件)、「レファレンスサービス」で 28.9% (35 件) と他の研修の内容に比べて多くなっている。

表 1.9 主催した研修の課題の有無（研修の内容別）

	全体	問 1 (ケ欄) 課題の有無					
		事前課題あり	修了課題あり	事前・修了課題あり	課題なし	不明	
合計	1347 100.0	240 17.8	26 1.9	15 1.1	1061 78.8	5 0.4	
問 1 (ア欄) 研修の内容	資料の収集・整理・保存	78 100.0	11 14.1	2 2.6	0 0.0	65 83.3	0 0.0
	図書館経営	191 100.0	28 14.7	2 1.0	1 0.5	160 83.8	0 0.0
	図書館関連法規	60 100.0	8 13.3	0 0.0	0 0.0	52 86.7	0 0.0
	情報通信技術	39 100.0	9 23.1	1 2.6	0 0.0	29 74.4	0 0.0
	情報検索	41 100.0	5 12.2	0 0.0	0 0.0	36 87.8	0 0.0
	レファレンスサービス	121 100.0	35 28.9	4 3.3	5 4.1	76 62.8	1 0.8
	児童青少年サービス	229 100.0	74 32.3	8 3.5	5 2.2	142 62.0	0 0.0
	学校支援サービス	28 100.0	12 42.9	0 0.0	0 0.0	16 57.1	0 0.0
	障害者サービス	26 100.0	5 19.2	0 0.0	0 0.0	21 80.8	0 0.0
	地域資料情報サービス	26 100.0	3 11.5	0 0.0	2 7.7	21 80.8	0 0.0
	行政（政策立案）支援サービス	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	ビジネス支援サービス	18 100.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	16 88.9	1 5.6
	法律情報サービス	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
	医学・健康情報サービス	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	その他の図書館サービス	68 100.0	5 7.4	0 0.0	1 1.5	62 91.2	0 0.0
	資料・主題情報	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0
	複数のテーマにわたる研修	235 100.0	30 12.8	6 2.6	0 0.0	199 84.7	0 0.0
	その他	174 100.0	13 7.5	3 1.7	1 0.6	154 88.5	3 1.7
	不明	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

課題の有無を形式等でみると、ワークショップ（演習等）を含む研修において「事前課題あり」176件（32.1%）、「修了課題あり」17件（3.1%）、「事前・修了課題あり」13件（2.4%）、「課題なし」341件（62.2%）となっている。ワークショップ（演習等）を含む研修は、講義のみの研修やその他の研修に比べて課題のある研修が多いことがわかる。

表 1.10 主催した研修の課題の有無（形式等別）

	全体	問 1（ケ欄） 課題の有無					
		事前課題あり	修了課題あり	事前・修了課題あり	課題なし	不明	
合計	1347 100.0	240 17.8	26 1.9	15 1.1	1061 78.8	5 0.4	
問 1 形式等 （ケ欄）	講義のみ	597 100.0	34 5.7	5 0.8	0 0.0	558 93.5	0 0.0
	ワークショップ （演習等）含む	548 100.0	176 32.1	17 3.1	13 2.4	341 62.2	1 0.2
	その他	200 100.0	30 15.0	4 2.0	2 1.0	162 81.0	2 1.0
	不明	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

## 9 主催した研修の修了証の有無

自治体種別でみると、受講後に修了証を発行している研修は、都道府県立図書館 28 件（5.7%）、市区立図書館 11 件（1.5%）、町村立図書館 1 件（0.8%）である。都道府県立図書館では、主催する研修の約 6% で修了証を発行していることがわかるが、全体的には少ない状況である。

表 1.11 主催した研修の修了証の有無

	全体	問 1（コ欄） 修了証の有無			
		修了証あり	修了証なし	不明	
合計	1347 100.0	40 3.0	1301 96.6	6 0.4	
自治体種別	都道府県立図書館	487 100.0	28 5.7	459 94.3	0 0.0
	市区立図書館	735 100.0	11 1.5	719 97.8	5 0.7
	町村立図書館	125 100.0	1 0.8	123 98.4	1 0.8